

第3期いきいき健康大分市民21・第4期大分市食育推進計画(案) 概要

計画の基本的な考え方

【趣旨】

健康づくりと食育の取組を効率的・効果的に推進するため、2つの計画を一体化した計画を策定

【位置付け】

「いきいき健康大分市民21」は、「大分市健康づくり推進条例」における推進計画

【計画期間】

2025(令和7)年度から2036(令和18)年度までの12年間。中間年度に評価と見直しを行う。

大分市の現状と課題

1 大分市の健康状況

○出生数は令和に入り4,000人を割り、2020(令和2)年には3,737人、出生率7.9

○2022(令和4)年の三大生活習慣病(悪性新生物・心疾患・脳血管疾患)の死因割合は全体の43.8%

○2023(令和5)年度の大分市国民健康保険の医療費を見ると、生活習慣病が占める割合は、外来で約4割、入院で3割

○介護・介助が必要になった主な原因を見ると、男性では生活習慣病、女性では運動機能と筋力の低下に関連した病気が多い

2 第2期いきいき健康大分市民21の評価と課題

【評価結果】

評価内容	項目数	割合(%)
目標達成	17	18.5
目標値に近づいた(改善)	21	22.8
変化なし	8	8.7
目標から離れた(悪化)	24	26.1
評価が困難	22	23.9

目標達成

○日常生活に制限のない期間の平均(健康寿命の延伸)

目標から離れた(悪化)

○20歳代女性のやせの人の割合の減少

○野菜の入った料理を1日平均5皿以上食べる人の割合の増加

○運動習慣がある者の割合の増加

○肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生)

○低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者割合の維持

○自分と地域の人たちとのつながりが強い方だと思ふ人の割合の増加

※項目は一部抜粋

3 第3期大分市食育推進計画の評価と課題

【評価結果】

評価内容	項目数	割合(%)
目標達成	3	14.3
目標値に近づいた(改善)	5	23.8
変化なし	6	28.6
目標から離れた(悪化)	6	28.6
評価が困難	1	4.8

目標達成

○3歳児健康診査でのむし歯保有者率の減少

○食中毒予防を実践している人の割合の増加

目標から離れた(悪化)

○食育に関心を持っている人の割合の増加

○主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日2回以上ほとんど毎日食べる人の割合の増加

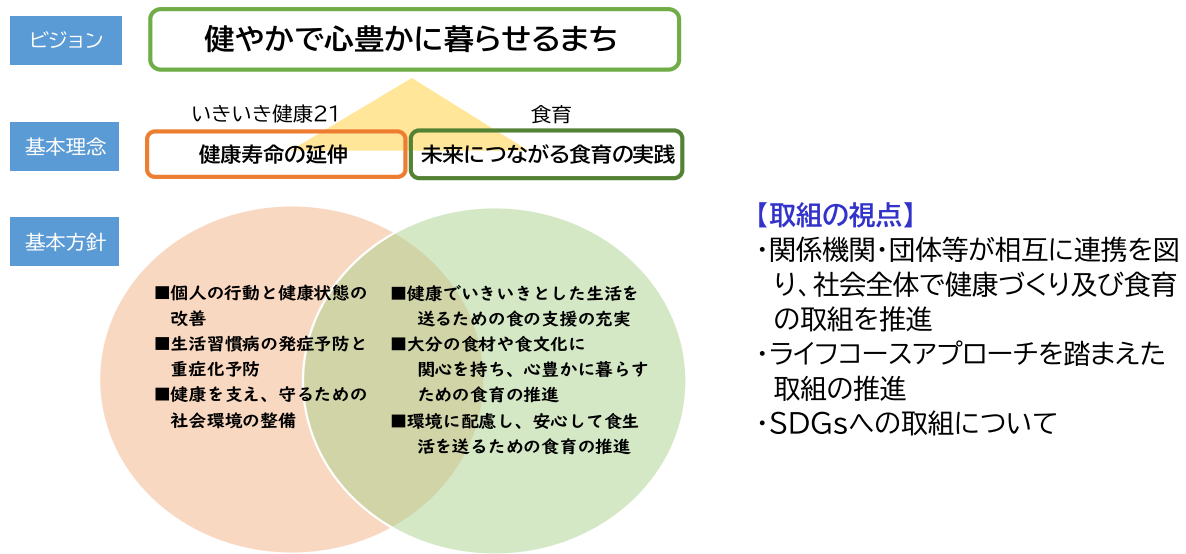
○農林漁業を体験したい人の割合の増加

○食文化や伝統料理に関心のある人の割合の増加

※項目は一部抜粋

次期計画の目指す姿と取組の方向性

「いきいき健康大分市民21」及び「大分市食育推進計画」に関する施策を一体的かつ計画的に推進していくために、「健やかで心豊かに暮らせるまち」をビジョンに位置付け、将来の課題を見据えた取組を進めるための基本理念と基本方針を定め、その実現を目指す。



～第3期いきいき健康大分市民21・第4期大分市食育推進計画の概念図～

【主な取組の方向性】

	基本理念	基本方針	主な取組の方向性
いきいき健康大分市民21	健康寿命の延伸	個人の行動と健康状態の改善	○ 望ましい食習慣と適切な栄養摂取についての普及啓発 ○ 運動習慣の定着のための支援 ○ 睡眠とこころの健康に関する啓発 ○ 適正飲酒に関する啓発 ○ 喫煙と受動喫煙が及ぼす健康への影響についての啓発 ○ 歯・口腔の健康づくりの推進
		生活習慣病の発症予防と重症化予防	○ 健(検)診受診行動の定着に向けた取組と受診しやすい環境づくり ○ 地域・職域連携による効果的な保健事業の検討 ○ CKD、循環器病等の重症化予防に向けた取組 ○ COPDに関する知識の普及啓発
		健康を支え、守るための社会環境の整備	○ 社会活動に参加する機会等の創出 ○ 健康的な食生活を支える環境の整備 ○ 運動に気軽に取り組める環境づくり ○ 受動喫煙防止の取組
大分市食育推進計画	未来につながる食育の実践	健康でいきいきとした生活を送るための食の支援の充実	○ バランスのとれた食生活の普及 ○ バランスのとれた食を支える環境の整備 ○ 食生活を支える歯・口腔の健康づくりの推進
		大分の食材や食文化に関心を持ち、心豊かに暮らすための食育の推進	○ 食に関する伝統文化の継承 ○ 地産地消の推進と食の魅力発信 ○ 農林漁業体験や生産者との交流活動の推進
		環境に配慮し、安心して食生活を送るための食育の推進	○ 食品ロス削減に向けた知識の普及啓発 ○ 食の安全確保に関する取組の推進 ○ 災害時の食に関する取組の推進